

警察犬と考えよう
犬のトラブル解決法

第3回
“犬の達人になろう！”

活動報告書

・日時 : 平成24年3月11日(日) 13:30~15:30

・場所 : 第1部 静岡市役所 静岡庁舎
第2部 青葉イベント広場

・タイトル : 「犬の達人になろう！」

・対象 : 一般市民

・主催 : 静岡市

・企画・運営 : 犬の会

・講習参加者41名	葵区23名	駿河区12名	清水区5名	牧之原市1名
・アンケート回収40枚	回収率	97.6%		
無回答1名	回答率	97.5%		

活動内容報告

平成24年2月1日、静岡市在住獣医師に「犬の達人になろう」のチラシ配布願い送付、静岡市役所市民課から静岡市諸施設にも、チラシを配布していただく。

平成24年2月15日、市民課経由で静岡市広報に案内を掲載。

広報活動で、2月25日、FM-Hi! 出演、3月5日、SBSラジオでの電話インタビュー。

3月8日、朝日新聞周遊ガイドで、講演会「犬に達人になろう」として紹介される。

平成24年3月11日、静岡市役所静岡庁舎、並びに青葉イベント広場において、13:30分より、第3回「犬の達人になろう」の講習会を開催した。庁舎休日使用の為、移動に備えグループ分けシールを配布。

当日は41名の市民が参加し、前半は市庁舎17階会議室において、犬の会メンバーで愛玩動物飼養管理士の沖紀代さんが講師となり、講習を行った。

犬を取り巻く法律に始まり、静岡市に寄せられている犬に関する苦情を提示し、あらためて受講者に実情を知ってもらい、自分に何ができるのか、何をすればよいのかを考えて、しつけの重要性を知ってもらうのが何よりの目的である。そして、さらにあなたの犬はだいじょうぶか?と問いかけ、しつけをすれば、他人に迷惑をかけない楽しい生活があること、それには何をしつければよいかを、スライドを使って丁寧にわかりやすい言葉と映像で説明した。

又、東日本大震災からちょうど1年目でもあり、災害時への準備は、物質面も必要だが、心構えも必要である事、ハウストレーニングの重要性も説明した。

そして外の会場へ移動、心配された移動も、4班に分かれて大変スムーズに行われ、予定より、5分早く第2会場の青葉イベント広場に到着した。

後半は、まず犬の嗅覚の素晴らしさを知っていただくために、平成22年度全日本嘱託警察犬競技大会選別の部で日本一になり、警察庁長官賞を受賞したアマリア号で匂いの嗅ぎ分けの実技から始めた。

14:46分には1分間の黙祷、これは外にいた見学者の方々も一緒に黙祷して下さった。

次に、講義で説明した命令用語を使っての警察犬のデモンストレーションを行った。犬の本能や習性を理解して、繰り返ししつけを行うことによって、どんな所でも言葉だけで指導手のいうことを聞く姿を見ていただきたかったからである。

そして、いざという時のためのハウストレーニング、これは災害時に預けられる犬にする事はもちろん、日頃でも、ハウスを安心して落ち着ける場所にする事で、犬が飼いやすくなり、困っている犬の飼い主にも大きな利点となるからである。入らない犬には、どう教えればよいか、3頭の犬で時間をかけて丁寧に説明した。

そのあとは、身近な家庭犬、スタンダードプードルとスピッツでの服従作業、2頭のエアデールテリアでのジャンケンポン、バンザイなどの楽しいパフォーマンス。教えれば色々な事ができるし、色々な可能性を持っている事を知って頂きたかった。

最後に、黒ラブでの訓練披露、誉める時、イケナイという時の声の違い、犬と信頼関係の出来た呼吸のあった訓練を見て頂けたと思う。

前半の講義と後半の実技を関連づけたことで、より理解の深まる事を望んだデモである。

予定通り、15:30分に終了、質問の時間が取れなかったので、終了後、会員各自がそれぞれ受講者から質問を受け回答した。事前の電話でも、自分の犬に困っているという声が多く、噛む、吠える、散歩の仕方などの質問が寄せられた。当日は、FM-Hi!、静岡新聞社の取材もあり、翌日の朝刊に掲載された。

配布資料は、公益社団法人 日本愛玩動物協会作成のパンフレット「ひとと動物の防災を考えよう」、アンケート用紙(別途添付)である。

成果と提言

第3回、「犬の達人になろう」の目標は、市に寄せられている犬に関する苦情を提示し、受講者に実情を知ってもらい、解決法として適切な飼い方、しつけの重要性を提案し、実行することにより、「誰からも愛される飼い犬」になる事。それにより、飼い主、犬、又周囲の人々もトラブルやストレスが減り、かつ社会に貢献出来る可能性があることを知っていただく事にある。それが、災害時の際にも大変役に立つことを知ってほしいと思っている。

受講者の約半数が、自分の犬に困っている人達である。事前の問い合わせ電話もほとんどが困っている人からであった。

その受講者の58.5%が、アンケートの設問(6)で、「受講後新たに飼い主として大切だと思ったものは何ですか？」に対して、他人に迷惑をかけない犬にすることと答えている。そして、約半数が、きちんとしたしつけ、ハウストレーニング、犬との信頼関係が大切だと答えている。「自分の犬に困って参加した」受講者が、受講後「他人に迷惑をかけない犬にすること」が大切だと意識が変わったと言える。そして、自分の犬の問題が家庭内だけでなく、社会的な問題でもあると認識が変わったと言える。さらに、そのためには、きちんとしたしつけ、ハウストレーニング、犬との信頼関係、体中どこでもさわらせる犬にしたい等と、犬のしつけに対する意欲が感じられる。

アンケート設問(7)、「講習で習ったことをこれから実践してみたいか？」の問いには、92.5%の人が実践したいと答え、その理由は、約半数がしつけの大切さがわかり、半数以上が犬と楽しく暮らしたいと願っていることだと答えている。また、3割の人達が、他人に迷惑をかけない犬にしたいから、災害時に預けられる犬にしたいから、自分の犬にも出来る可能性があると思ったからと答えている。

これは、講義、デモンストレーション、ハウストレーニングの3本柱の流れがうまく連動して、講義で説明したことを、実技で示すことが出来た結果だといえる。

「自分の犬にも出来る可能性があると思った」という回答が、26.8%あったことは、デモンストレーションで、家庭犬の服従訓練、ハウストレーニングを見せたことで受講者が親しみを覚えた結果だと考えられる。

講習後の感想で、「犬をしつける前に自分が大人になる事」、「あきらめずにしつけを続ける大切さを再認識した」、「しつけも犬が楽しそうにしているのに感動」、「ほとんどのしつけが出来ていないことがわかった」、「しつけを覚えて実践したい」などの解答もあり、アンケートや感想から「犬の会」の思いが、受講者に伝わったと感じられ、これが私達の目標であり、嬉しく思う。

アンケート集計結果によれば、受講者の29.2%が60代、70代の高齢者だった。このアンケートの結果のみでは断定できないが、これは注意すべきことである。高齢者と若く元気な犬の組み合わせはトラブルの原因になりやすいと考えられるからである。市が、犬飼育者の年齢を把握しておけば、様々なケースで役立つと考えられる。

最後に、チラシ配布に御協力を頂いた静岡市獣医師会の先生方に感謝しています。又、市民生活課、動物指導センターの犬に関する苦情の情報提供、市庁舎会議室使用への御協力、当日の運営への御配慮、御協力に感謝します。今回、静岡市役所静岡庁舎17階会議室で、講習会を開催できたのは、市との協働パイロット事業としての大きな成果だと思います。ただ、今だに17階会議室にクレート入りのモデル犬を置いていれば、より一層の成果が期待できたとの思いがあります。

アンケート用紙

「犬の達人になろう」 アンケート

2012.3.11

◆あてはまるものを○で囲んで下さい。

1)あなたの性別、年齢を教えてください。

①男性 ②女性

①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代

2)ペットを飼っていますか？

①はい ②いいえ ③以前飼っていた

(犬 頭) (猫 匹) (その他、何を 匹)

3)この講習をどこで知りましたか？(複数回答可)

静岡市広報紙 獣医 体育館 児童館 生涯学習施設 ペットショップ
ラジオ インターネット 新聞 友人知人 その他()

4)この講習に参加した動機は何ですか？(複数回答可)

①自分の犬に困っているから ②他人の犬に困っているから ③警察犬に関心があったから

④どんな事がトラブルになっているのか知りたかったから

⑤その他()

5)きょうの講習会はいかがでしたか？(複数回答可)

・講義 ①とてもよい ②よい ③普通 ④悪い ⑤とても悪い

・デモンストレーション ①とてもよい ②よい ③普通 ④悪い ⑤とても悪い

・ハウストレーニング ①とてもよい ②よい ③普通 ④悪い ⑤とても悪い

6)受講後新たに、飼い主として大切だと思ったものは何ですか？(複数回答可)

①他人に迷惑をかけない犬にすること ②ふん、尿、抜け毛の後始末、ニオイへの気配り

③日頃から近所とのコミュニケーションをとること ④イヌ友、イヌ仲間をつくること

⑤宅急便、検針員など訪問者への気配り ⑥いざという時のためのハウストレーニング

⑦犬との信頼関係 ⑧体中どこでもさわらせる犬にすること ⑨きちんとしたしつけ

⑩その他()

7)受講してみて、習った事をこれから実践してみようと思いますか？

・実践したい ⇒Aへ ・実践してみようとは思わない ⇒Bへ

A)実践してみようと思う理由はなんですか？(複数回答可)

①他人に迷惑をかけない犬にしたいから ②しつけの大切さがわかったから

③自分の犬にも出来る可能性があると思ったから ④自分の犬になにをしつければいいのかわかったから

⑤災害時に預けられる犬にしたいから ⑥犬と楽しく暮らしたいから

⑦その他()

B)実践しようと思わない理由は何ですか？

()

8)今回で3回目の講習会ですが、1回目、2回目にも受講されましたか？

①1回目(11月23日 災害時犬はどうなる)

②2回目(1月22日 ワンちゃんしつけ教室)

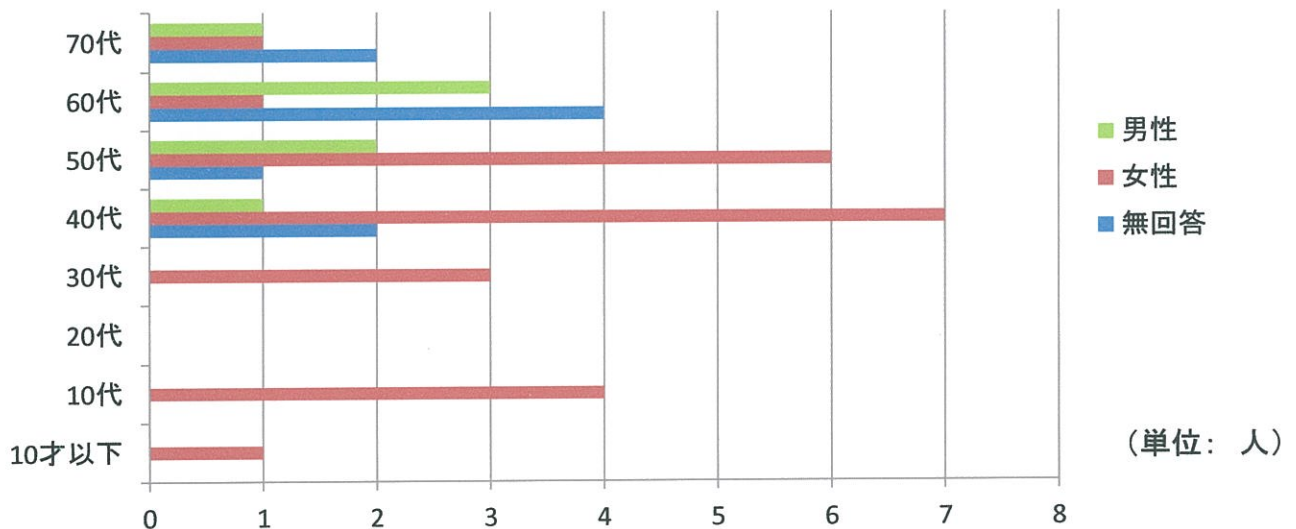
9)講習の感想、ご意見、講師へのメッセージなど何でもお書き下さい。

()

アンケート集計結果

1) あなたの性別、年齢を教えてください

	10才以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	0	0	0	0	1	2	3	1	7
女性	1	4	0	3	7	6	1	1	23
無回答	0	0	0	0	2	1	4	2	9
合計	1	4	0	3	10	9	8	4	39



◆結果

- ①40代の受講が最も多く約25.6%、続いて50才代23.1%、60代20.5%だった。中高年の受講者が多かった。それに引き替え20代の受講者は0であった。
- ②男女比は女性が男性の約3倍で、女性の方が多い。
- ③家族で参加した受講者は9組、19人で46.3%だった。

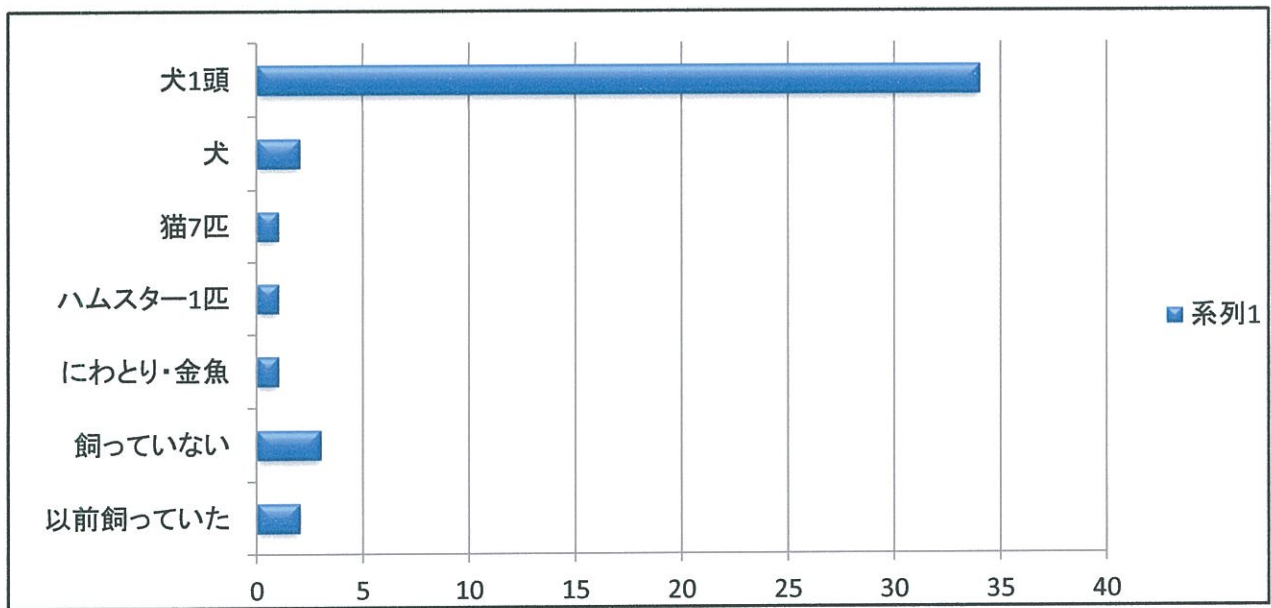
◆考察

- ①40代、50代、60代の順で受講者が多かった。この結果のみで犬の飼い主に中高年が多いとはいえない。
- ②受講者の29.2%が60代、70代の高齢者だった。このアンケートの結果のみでは断定できないが、これは注意すべきことで、高齢者と若く元気な犬の組合せはトラブルの原因になりやすいことが心配されている。市は犬飼育者の年齢を把握しておけば、様々なケースで役立つだろう。
- ③家族で参加した受講者が46.3%だったことは、犬が家族の一員として捉えられていることの表れと思われる。

2) ペットを飼っていますか？

ペットを飼っていますか	人数	%
犬1頭	34	77.3%
犬	2	4.5%
猫7匹	1	2.3%
ハムスター1匹	1	2.3%
にわとり・金魚	1	2.3%
飼っていない	3	6.8%
以前飼っていた	2	4.5%

(単位:人)



◆結果

- ①受講者は、犬1頭飼育者が最も多く77.3%、頭数不明の犬飼育者を加えると81.8%を占める。
- ②犬以外の動物飼育者が6.9%、飼っていない6.8%、以前飼っていた4.5%を加えると、犬を飼っていない受講者が全体の18.2%だった。

◆考察

- ①講習会タイトルを犬に限定しているにも関わらず、犬を飼っていない受講者が18.2%を占めることは、市民の犬に対する関心が高さの現れと思われる。

3)この講習をどこで知りましたか？(複数回答可)

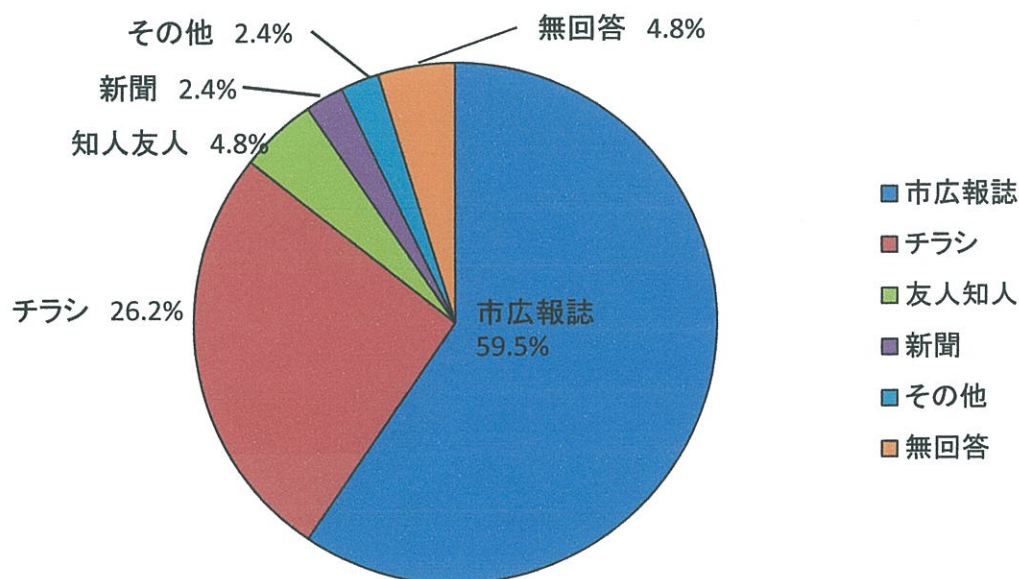
市広報誌	獣医	友人知人	生涯学習施設	新聞	その他	体育館	児童館
25	5	2	1	1	6	0	0
ペットショップ	ラジオ	インターネット	無回答				
0	0	0	2				

・その他内訳 (6)

愛護館(1) 前回の講習(駿府公園)(3) 通りがかり(1) チラシ(1)



	市広報誌	チラシ	友人知人	新聞	その他	無回答
延べ回答	25	11	2	1	1	2
シェア	59.5%	26.2%	4.8%	2.4%	2.4%	4.8%



◆結果

①最も多いのが市広報紙59.5%、次いでチラシが26.2%だった。

〔ここでいう「チラシ」とは獣医、生涯学習施設、動物愛護館、前回の講習(駿府公園)で配布したチラシを合計した数字である。〕

◆考察

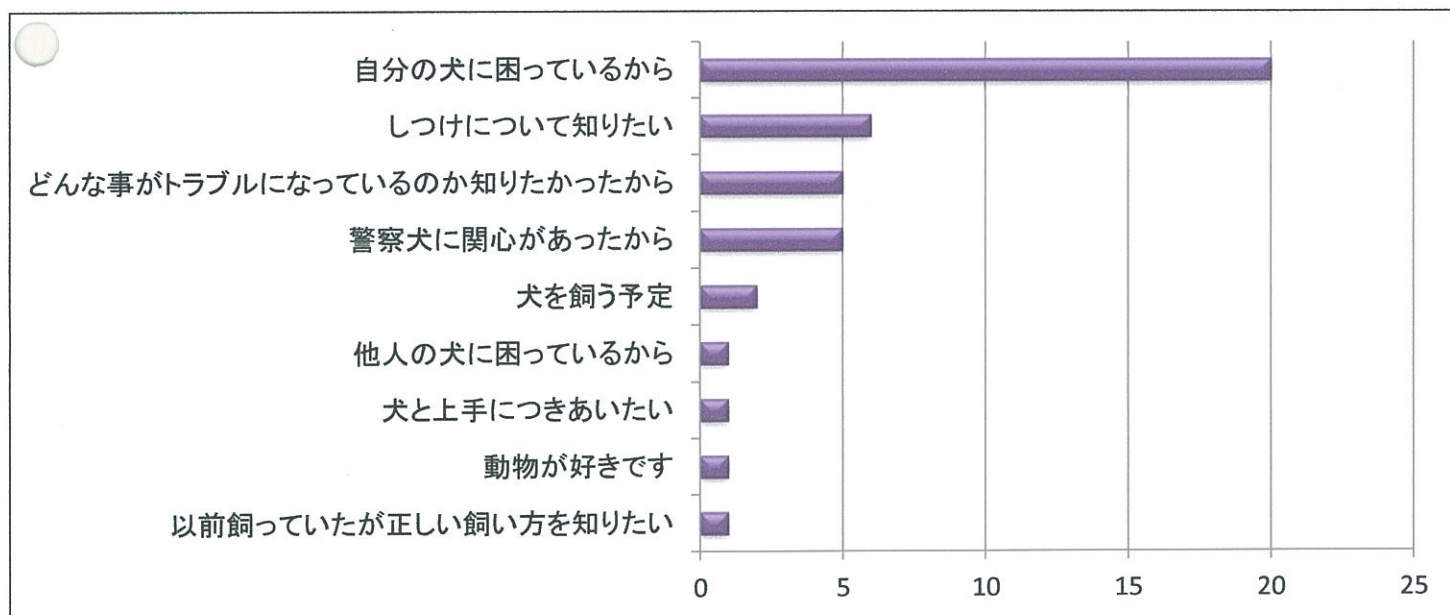
②市広報誌は全体の約6割を占め、市内各戸に配られる市広報誌の情報が、いかに市民に行き渡っているかを示している。広報誌掲載に我々がこだわった理由である。市と協働した大きな成果と言える。

③チラシは1200枚作成し、獣医をはじめ、動物指導センター、生涯学習施設、図書館、体育館等市公共施設に置いてもらった。その中では「獣医」が最も効果的で11.9%だった。チラシが26.2%で受講者の1/4を占めていることは、チラシの効果の高さを示している。

4)この講習に参加した動機は何ですか？（複数回答可）

自分の犬に困っているから	20	47.6%
しつけについて知りたい	6	14.3%
どんな事がトラブルになっているのか知りたかったから	5	11.9%
警察犬に関心があったから	5	11.9%
犬を飼う予定	2	4.8%
他人の犬に困っているから	1	2.4%
犬と上手につきあいたい	1	2.4%
動物が好きです	1	2.4%
以前飼っていたが正しい飼い方を知りたい	1	2.4%

単位：人



◆結果

- ①「自分の犬に困っているから」が最も多く47.6%、次いで「しつけについて知りたい」が14.3%だった。「どんなことがトラブルになっているのか知りたい」は11.9%、「警察犬に関心があったから」も11.9%だった。
- ②「他人の犬に困っている」も2.4%あった。
- ③「どんなことがトラブルになっているか知りたい」と「警察犬に関心があったから」は共に12.5%だった

◆考察

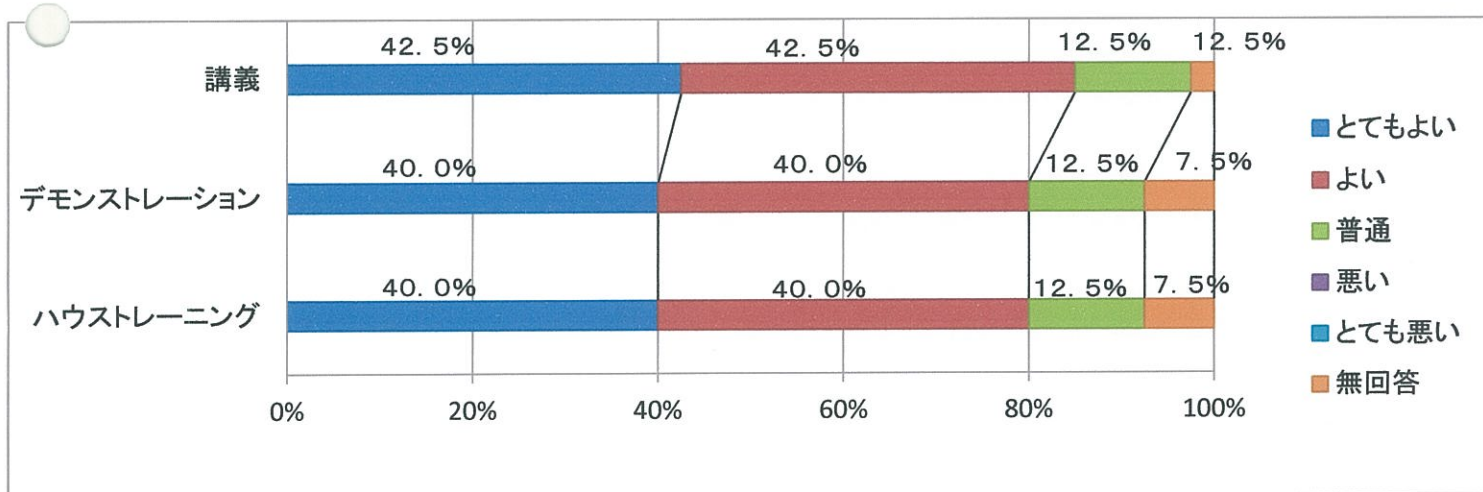
- ①受講者の約半数が「自分の犬に困ってるから」としており、飼い犬の問題行動に困っていることがわかる。また、「しつけについて知りたい」が11.9%あり、受講者が求めていたのは「困った犬のしつけ方」であることが推測できる。

5)きょうの講義はいかがでしたか？（複数回答可）

単位：人

	とてもよい	よい	普通	悪い	とても悪い	無回答	合計
講義	17	17	5	0	0	1	40
デモンストレーション	16	16	5	0	0	3	40
ハウストレーニング	16	16	5	0	0	3	40

	とてもよい	よい	普通	悪い	とても悪い	無回答	
講義	42.5%	42.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.5%	
デモンストレーション	40.0%	40.0%	12.5%	0.0%	0.0%	7.5%	
ハウストレーニング	40.0%	40.0%	12.5%	0.0%	0.0%	7.5%	



◆結果

- ①「講義」については「とてもよい」「よい」を合わせると85%になる。
- ②「デモンストレーション」と「ハウストレーニング」は共に「とてもよい」と「よい」を合わせて80%である。
- ③全体を通して「悪い」と「とても悪い」の評価は0だった。

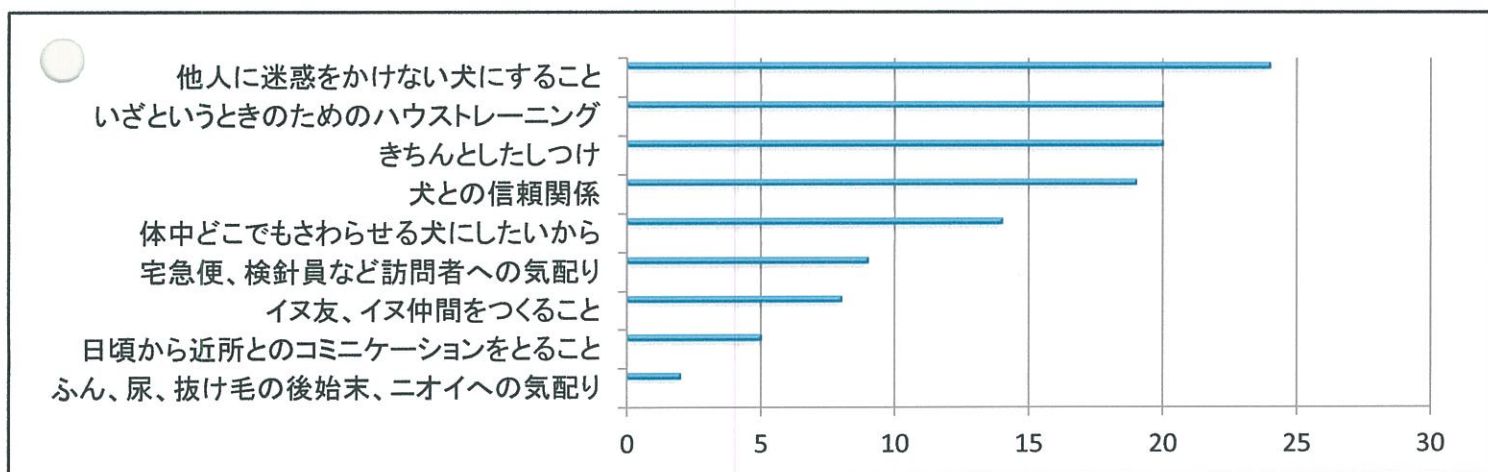
◆考察

- ①今回の講習の3本柱である講義、デモンストレーション、ハウストレーニング、全てへの評価が8割を超え、高評価を得ている。これは講習がバランスの良い、質の高い講習会だったと言える。
- ②1部を市役所静岡庁舎17階会議室で行い、2部を青葉イベント広場でと場所を移動したにもかかわらず、高評価を得た。これは移動に対する事前の準備がきちんと出来ていて、スムーズにできた事も高評価の一因といえる。

6) 受講後新たに飼い主として大切だと思ったものは何ですか？ (複数回答可)

他人に迷惑をかけない犬にすること	24	58.5%
いざというときのためのハウストレーニング	20	48.8%
きちんとしたしつけ	20	48.8%
犬との信頼関係	19	46.3%
体中どこでもさわらせる犬にしたいから	14	34.1%
宅急便、検針員など訪問者への気配り	9	22.0%
イヌ友、イヌ仲間をつくること	8	19.5%
日頃から近所とのコミュニケーションをとること	5	12.2%
ふん、尿、抜け毛の後始末、ニオイへの気配り	2	4.9%

(単位:人)



◆結果

- ①「他人に迷惑をかけない犬にすること」が58.5%で一番多かった。
- ②「いざというときのためのハウストレーニング」「きちんとしたしつけ」が共に48.8%で次に続いた。
- ③「犬との信頼関係」も46.3%を占め、上記の項目と合わせて、どれも約5割の受講者が「受講後新たに大切だと思った」とした。

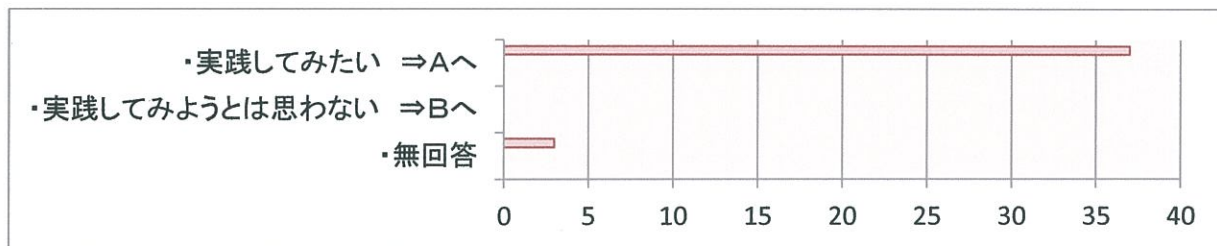
◆考察

- ①約5割の受講者が「ハウストレーニングが大切だ」と思ったということは、半分の犬がハウストレーニングが出来てないことを示す。また「体中どこでもさわらせる犬にすることが大切だ」とした受講者が34.1%いるというのは、3割の犬が体中どこでも触らせないということであり、これは驚くべき数字である。
- ②問4で約5割の受講者が受講の理由を「自分の犬に困っているから」と答えた。この項目でも約5割の受講者が「他人に迷惑をかけない犬にすること」「いざというときのハウストレーニング」「きちんとしたしつけ」が大切だと思っていることは、きちんとしつけをして自分の犬のトラブルを解決したいという意欲が感じられる。またしつけの大切さに気づいてもらえたと言えるだろう。
- ③アンケートの結果、受講の理由が「自分の犬に困って参加した」受講者が、受講後「他人に迷惑をかけない犬にすること」が大切だと意識が変わったといえる。これは自分の犬の問題が家庭内だけでなく、社会的な問題でもあると認識が変わったと考えられる。

7) 受講してみても、習ったことをこれから実践してみようと思いますか？

実践してみたい ⇒Aへ	37	92.5%
実践してみようとは思わない ⇒Bへ	0	0.0%
無回答	3	7.5%

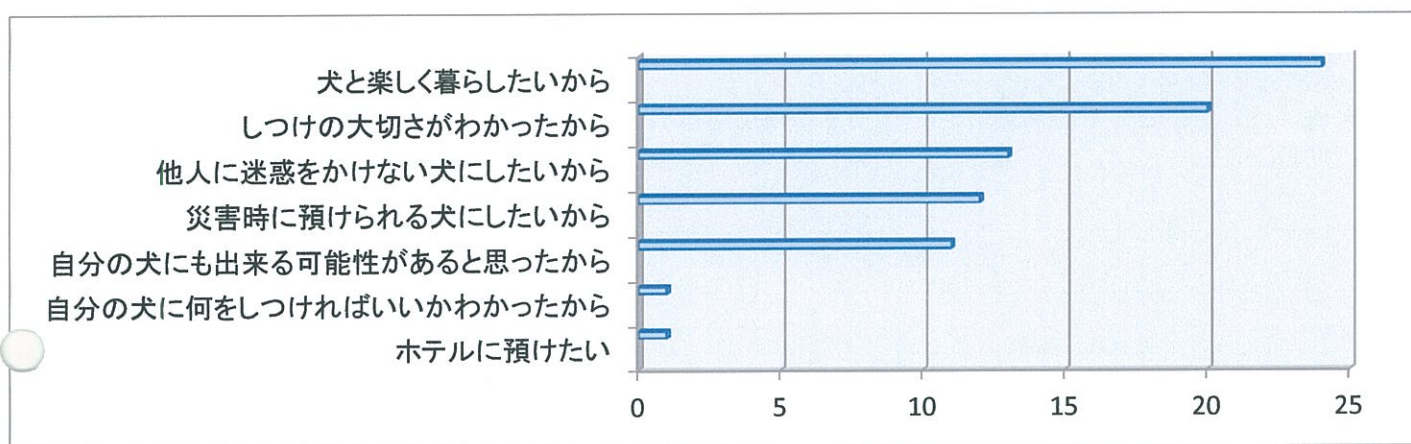
(単位:人)



A) 実践してみようと思う理由はなんですか？ (複数回答可)

犬と楽しく暮らしたいから	24	58.5%
しつけの大切さがわかったから	20	48.8%
他人に迷惑をかけない犬にしたいから	13	31.7%
災害時に預けられる犬にしたいから	12	29.3%
自分の犬にも出来る可能性があると思ったから	11	26.8%
自分の犬に何をしつければいいのかわかったから	1	2.4%
ホテルに預けたい	1	2.4%

(単位:人)



◆結果

- ①「受講してみても習ったことをこれから実践してみたい」と答えた受講者は92.5%を占め、「実践してみたいと思わない」受講者は0であった。無回答は7.5%であった。
- ②実践してみようと思う理由は「犬と楽しく暮らしたいから」が一番多く58.5%を占めた。「しつけの大切さがわかったから」は48.8%であった。「他人に迷惑をかけない犬にしたいから」は31.7%であった。

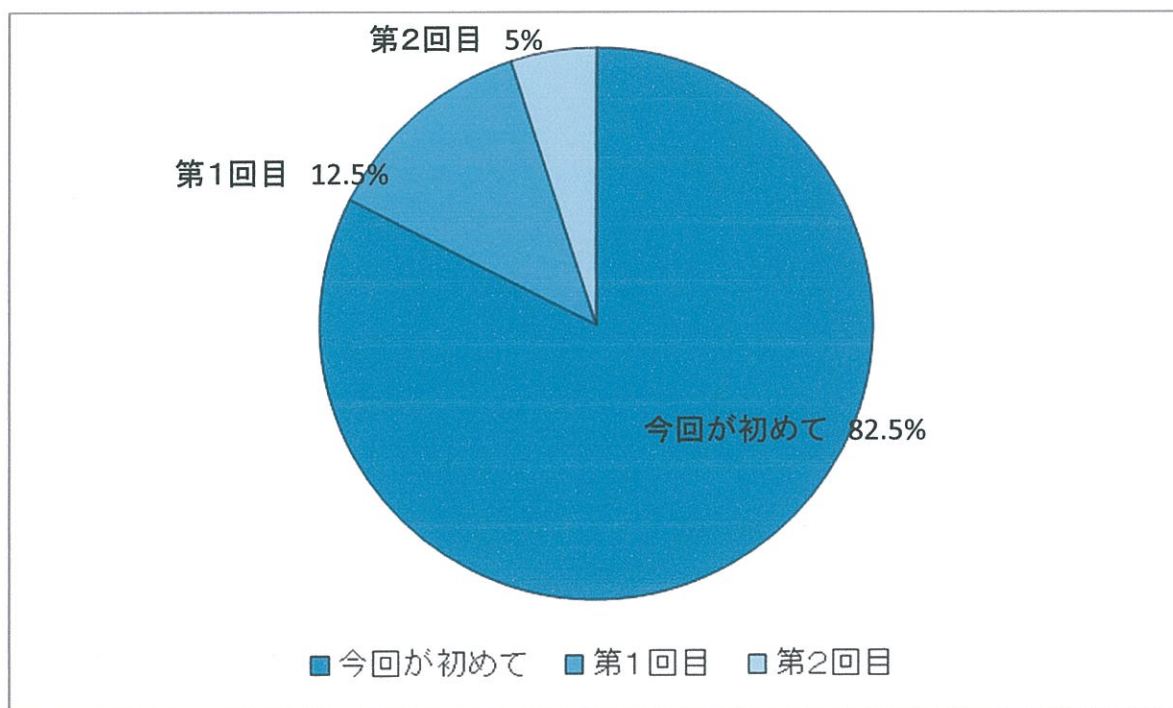
◆考察

- ①「習ったことをこれから実践してみたい」が9割を越えたことは、講習が高評価を得たと考えてよいだろう。これは講義、デモンストレーション、ハウストレーニングの3本柱の流れがうまく連動して、講義の中で説明したことを、実技で示す事が出来た結果だといえる。
- ②「自分の犬にも出来る可能性があると思った」が26.8%あったこと。これはデモンストレーションに家庭犬の服従、ハウストレーニングを取り入れたことで受講者が身近に感じ、親しみを覚えた結果だと考えられる。

8) 今回で3回目の講習会ですが、1回目、2回目にも受講されましたか？

今回が初めて	33	82.5%
第1回目	5	12.5%
第2回目	2	5.0%

(単位:人)



◆結果

- ①第1回目に参加した受講者は12.5%、第2回目に参加した受講者は5%。第1回目、第2回目共に参加した受講者は0だった。
- ②82.5%が初めて参加した受講者だった。

◆考察

- ①第1回目の受講者が12.5%いたということは、第1回目参加者の中に我々の講習を評価してくれた人たちがいたと考えられる。
- ②第2回受講者が5%と少ないのは、第2回目の受講者は犬と飼い主23組であり、もともと対象者が少なかった。第2回目の参加者の1割が今回の講習会に参加していた。

9) 講習の感想、ご意見、講師へのメッセージなど何でもお書きください

- ・帰宅後即訓練をしたい (60代男性)
- ・申し込みにはずれたので今回が初めてです (50代女性)
- ・困ったちゃんを連れてくるのは大変ですが、一緒に参加出来る機会を作って頂けると嬉しいです (40代女性)
- ・とても参考になりました。一つずつシツケをしたいと思います (70代)
- ・犬をしつける前に自分が大人になること (60代男性)
- ・しつけの具体的な方法を知りたい (70代男性)
- ・うちの犬にもトレーニングをして、人言うことに従う子にしたいと思います。これからもトレーニングの講習があったら参加したいと思います。(50代女性)
- ・あきらめずにしつけを続ける事の大切さを再認識しました (50代女性)
- ・プードルを飼っています。無料で自分の犬が参加出来る訓練があったらいいと思います。(30代女性)
- ・長期間繰り返し同じしつけをやしてほしい。なかなかひとりで時間がかけれない (30代女性)
- ・スワレ、フセ、マテ、ハウス、イケナイぐらいしかがらばっても出来ないと思っていたけれど、もっとむずかしいこともできるかもしれないと思えました (10代女性)
- ・警察犬の仕事に興味があります。もうどう犬にも (50代)
- ・自分の犬に関してはそれほど困っていないのですが、知人・友人から犬についての、困り事の相談を受けるケースが多いので参考にさせて頂きたいと受講させて頂きました。ありがとうございました。
- ・犬はただかわいいだけだと思いました。でも、犬にはすごいうりょくがあるとおもいました。(9才女子)
- ・感動します (60代)
- ・このような場所でも、飼い主との信頼関係がしっかりしていれば、言うことを聞くことに感心しました。ありがとうございました。(40代女性)
- ・しつけのやり方やトレーニングのやり方を教えてくれたためになった (10代女子)
- ・自分たちではむずかしいのでトレーナーさんをお願いしようかと トレーナーもいろいろ考え方あるのでどうしようかなと (40代女性)
- ・とてもいいかいでした。さんこうにしたいです。よかったです。(10代女性)
- ・とても楽しそうに見えました私もそうなりたいです。ありがとうございました。(30代女性)
- ・わかりやすい説明でよかったです (40代男性)
- ・いついあまやかしてしまうので、メリハリをしっかりと教えてみたいと思いました (50代女性)
- ・しつけも犬が楽しそうにしているのに感動。ぴったり息が合ったときの空気がステキでした。(50代女性)
- ・うちの犬は9ヶ月なので今後しつけ等しっかりしてやりたいと思いますので、この様な講習に積極的に参加させてもらいたいと思います (70代)
- ・ハウストレーニングの説明が少し長かったです。(簡単にわかりやすくまとめてほしかったです) 全体的にはわかりやすくよかったです (40代女性)
- ・飼った場合、イヌとのコミュニケーション大切に守ってあげたい (60代)
- ・犬のいるいい社会になるように! (40代女性)
- ・犬へのしつけ方などたくさん知れてよかったです (10代女子)
- ・具体的なしつけの方法を教えてください (40代女性)
- ・ほとんどのしつけが出来ていないことがわかった。1つずつ覚えて実践したい (50代女性)
- ・災害時の話はとても興味深かったです。これからしつけに力を入れていきたいと思います (40代女性)



先着50名

犬の達人になろう!

- ・犬を飼っている人が困っていること
- ・犬を飼っていない人が困っていること



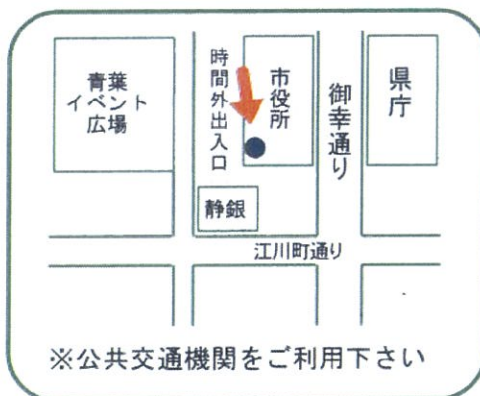
困った犬にしないためには
どうしたらいいの?



あなたの犬は
大丈夫?



警察犬訓練に挑戦!



日時

平成24年3月11日(日) 午後1時30分 ~ 3時30分
(午後1時開場)

場所

静岡市役所 静岡庁舎 会議室(17階)
(休日のため時間外出入口をご利用下さい。案内図参照)

内容

第1部 講習会 ・犬のトラブル解決法について
第2部 訓練体験 (青葉イベント広場)
・警察犬訓練に挑戦して犬の達人になろう!

定員

先着50名 (当日直接会場においで下さい) 犬同伴不可

問合せ

犬の会

TEL : 080-3670-2284

メールアドレス : inunokai_1992@yahoo.jp

ブログ : http://blogs.yahoo.co.jp/wanwan_inunokai

企画・運営 犬の会

主催 静岡市【協働パイロット事業】

市広報誌及び新聞各社掲載記事他

市広報誌 2012年2月15日号



講座・教室



犬の達人になろう! 飼い犬トラブルの講義と訓練体験

とき:3月11日(日)、午後1時30分~3時30分
 ところ:市役所静岡庁舎17階会議室
 ※時間外出入口をご利用ください。
 対象:どなたでも50人(無料)
 ※当日、直接会場へどうぞ(先着順)
 問合せ:犬の会(☎080-3670-2284)
 担当:市民生活課(☎221-1265)

朝日新聞 2012年3月8日朝刊

2284。

犬の達人になろう!(静岡市葵区) 11日午後1時半、追手町の市役所静岡庁舎。講演後、警察犬などとの訓練体験も。犬連れ不可。先着50人。直接会場へ。犬の会☎080・3670・



講演会

中部

静岡新聞 2012年3月5日朝刊

愛犬のしつけ教室

葵区

静岡市と警察犬の指導士らでつくる「犬の会」(行木昌代会長)は11日、葵区で愛犬のしつけ教室を開いた。約40人が参加し、市役所静岡庁舎で講義を受けた後、青葉イベント広場でしつけを十分に受けたスタンダードプードルやシェパードなど計5種8頭のデモンストレーションを見学した。



犬が匂いを嗅ぎ分けるデモンストレーションも見学したしつけ教室
 二静岡市葵区

布についた人間の匂いを嗅ぎ分けたり、命令に従って体を動かしたりする犬の様子に買ひ物客も足を止めて見守った。

父親と教室に参加した新通小3年の永田あいさん(9)は「犬が一度も間違えずに匂いを嗅ぎ分けたので、びっくりした」と話した。

ラジオ

2012年2月24日(金) 午後1時35分~55分
 FM-Hi ひるラジ「人にぞっこん」出演

2012年3月5日(月) 午前7時15分~23分
 SBSラジオ「情報三枚おろし」出演

第3回講習会「犬の達人になろう！」

日時 平成24年3月11日(日) 13:30 ~ 15:30
 雨天決行 (本降りの時はプログラムを変更して会議室で実施)
 開催地 静岡市委区役所 17階 会議室
 青葉イベント広場
 対象 一般 募集人数 50人
 問い合わせ先 080-3670-2284
 jinnoakai1992@yahoo.co.jp

スタッフ 15名
 犬 8頭

	場所	担当者	借りるもの	用意するもの
11:30	0			
13:00	時間外出入り口に集合 1階ロビーにて最終ミーティング 正面玄関に出入り案内を貼る (時間外出入り口にお戻りください) 各持ち場に移動、準備、会場設定		看板4 1階(2) 受付、エレベーター案内 17階 エレベーター付近 青葉イベント広場	スタッフ用名札 横断幕(ホワイトボード) 立て看板用紙
13:30	受付開始 事務動 色別にグループ分け (赤:13 黄色:13 白:12 青:12) 入館簿に記入してもらう(名前・時間・居住区)	受付: 人 誘導: 1階 ..1人 17階 ..人	机(入り口に常設)	参加者用名札 4グループ色分け 筆記用具
13:30~14:20	はじめの挨拶 (今日のスケジュール) 講習 (パピーポイントを使う) 犬を飼っている人が困っていること 犬を飼っていない人が困っていること 咬んだらどうする? 咬まれたらどうする? (市役所に寄せられている犬に関する苦情を提示し その解決法を探る) 解決法の一つとして、適切な飼い方、しつけの 重要性を提案する ペットの防災について	司会 ..1人 講習 .. 1人 記録&タイムキーパー: 1人 その他 2人	スクリーン プロジェクター マイク、スピーカー	パソコン 配付資料(机に配置)
14:20~14:35	休憩・移動 グループごとに誘導 (1階出口でグループごとに人数確認) 施設、入館簿記入	誘導 ①赤:1人 ②黄:1人 ③白:1人 ④青:2人		
14:35~15:15	・子モンストレーニング 選別 黒棒(1分間) 服従 ・ハウスのしつけ方 (司会 1人 モデル犬3匹) ハウスの体験 ・子モンストレーニング 家庭犬服従 ... 2匹 エアテール/フナーダンス ... 2匹 スラローム ... 1匹 ・初めての犬との接し方 (時間調整) 2人と1匹	司会 スタッフ 15名 モデル犬 8頭	看板 コーン、パイパー マイク、スピーカー テーブル	パソコン 3 ... ハウスデモ用 (各自所有分で) 選別台、ピンセット、布 飛越台 パイプ 1 アンケート用紙(バインダー) 筆記用具 メガホン、笛
15:15~15:30	質疑応答・アンケート記入 ・アンケート記入 ・終わりの言葉			
15:30~16:00	後片付け			

- スタッフ1 .. 選別台、布
- スタッフ2 .. コーン、棒
- スタッフ3 .. パソコン
- スタッフ4 .. 飛越台
- スタッフ5 .. スピッツ
- スタッフ6 .. 配付資料 アンケート用紙、バインダー
事務用品、筆記用具、受付案内札
救急箱
- スタッフ7 .. 名札、パイプ、笛、メガホン
マイク、スピーカー、パソコン
横断幕、立て看板用紙
ひも、テープ、はさみetc
- 会場に駐車する車 (1時に車を移動)
5台

第3回講習会「犬の達人になろう！」 役割分担表

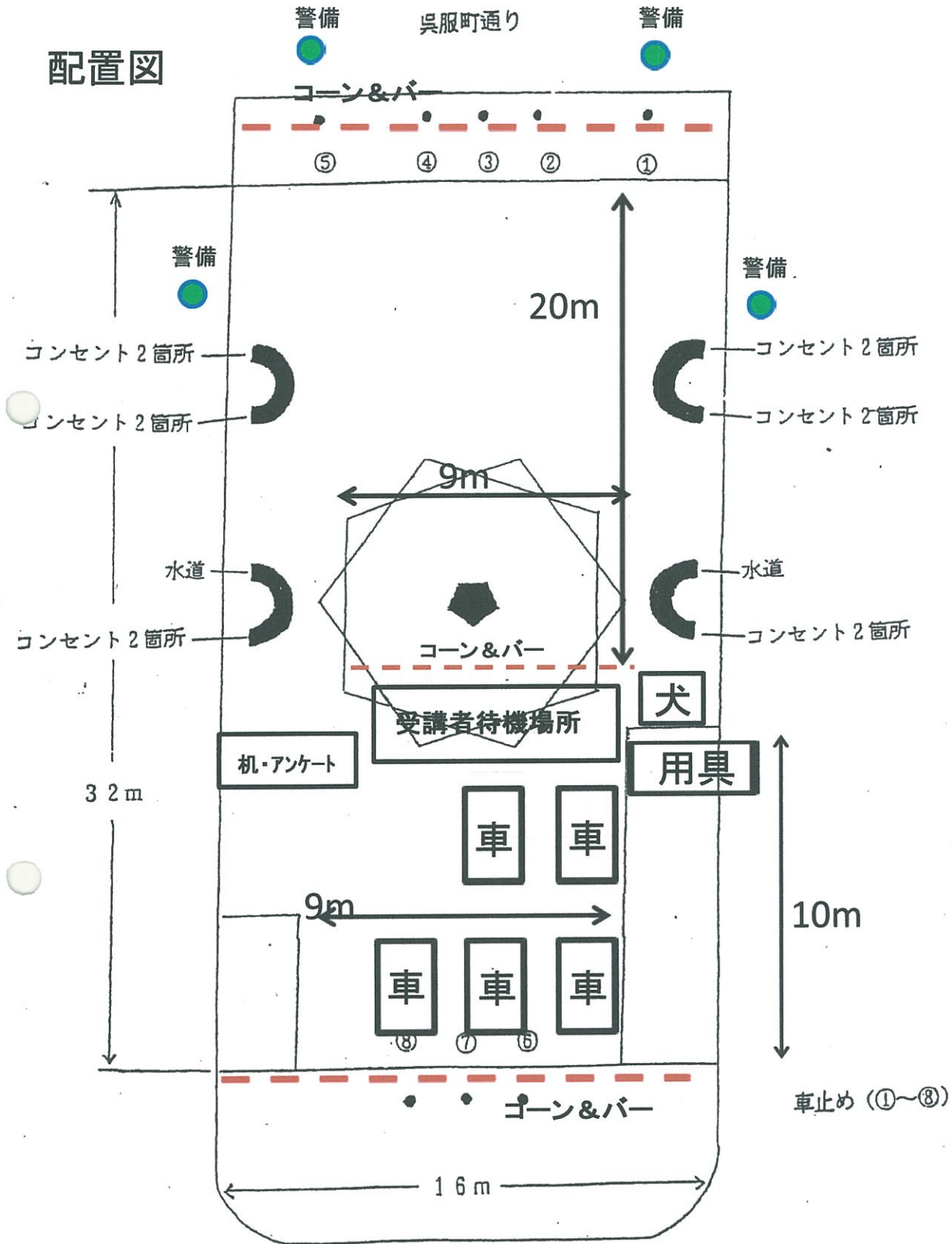
コーン、バー下ろす スタッフ1
 駐車場に移動 スタッフ1, 2

スタッフ 15名
 犬 8頭

全 員	17階グループ	受付係・1階誘導係	イベント広場グループ
11:30 ~ 12:15 時間外出入りに集合 ・1階ロビーで最終打合せ ・各持ち場へ移動	4人 記録係 誘導係 .. 1人(17階)	3人 誘導係 .. 1人(1階)	コーン、バー見張り..1人 8人
12:15 ~ 13:00	会場設定 ・横断幕、立て看板準備 ・配付資料テーブルに設置 ・パソコン、スクリーン準備 ・マイク、スピーカーチェック	受付係&誘導係 ・受付準備 ・立て看板設置(2) 受付、エレベーター ・御幸通り玄関張り紙	・立て看板設置(1) ・受付準備手伝い ・車移動準備 ・点字ブロック撮影 .. 1人
13:00 ~ 13:30	誘導係 .. 1人(17階)	受け付け開始 ・入館簿に記入してもらう ・グループ分け(色別) 赤 13 黄色 13 白 12 青 12 ・人数確認(50名まで) 誘導係 .. 1人(1階)	車移動 .. (誘導) 1人 6人 会場準備 ・立て看板設置 ・コーン&バー設置 ・スピーカー、マイク ・アンケート用テーブル ・訓練用具準備 選別台、ピンセット、布 飛越台 ・ハウス(デモ用3) ・警備用品(笛、メガホン、バケツ) ・アンケート用紙、バインダー ・筆記用具 ・救急箱
13:30 ~ 14:20	講習開始 ・司会 ・講習 ・記録、タイムキーパー .. 1人 ・その他3人	移動 ・立て看板残す (受付終了..貼る) ・誘導係 → 17階へ 人数等報告 ・デモリハーサル 3人 → イベント広場へ	デモストレーション リハーサル 警察犬デモ ・選別 .. 1人 (手伝い..2人) ・警察犬服従 .. 1人(飛越台..2人) ハウス .. 1人 犬3匹 家庭犬服従 .. 2匹 エアデールパフォーマンス .. 2匹 ・司会
14:20 ~ 14:35	講習終了 移動開始 誘導 ①赤 ②黄 ③白 ④青 望月氏 .. 会議室施錠、入館簿記入		受講者誘導 → 待機場所へ
14:35 ~ 15:15 14:46 ~ 1分間 黙祷			・警備 .. 4人 ・記録、タイムキーパー .. 1人 ・司会 .. 1人 警察犬デモ ①選別 (手伝い..2人) 14:46 .. 1分間黙祷 ②警察犬服従 (飛越台..樺葉、根来) ハウストレーニング .. 1人 犬3匹 デモンストレーション2 ・家庭犬服従 .. 2人 ・エアデールパフォーマンス .. 2人 ・スラローム、回転 .. 1人 初めて会う犬との接し方(時間調整) 2人と1匹 (デモが終わり次第犬はハウスに入れる)
15:20 ~ 15:30 訓練体験終了 ・質疑応答、インタビュー ・アンケート記入(2人) ・終わりの言葉	・アンケート配布、回収		
15:30 ~ 16:00 片付け .. 全員	17階会議室チェック 4人		・点字ブロック撮影 .. 1人

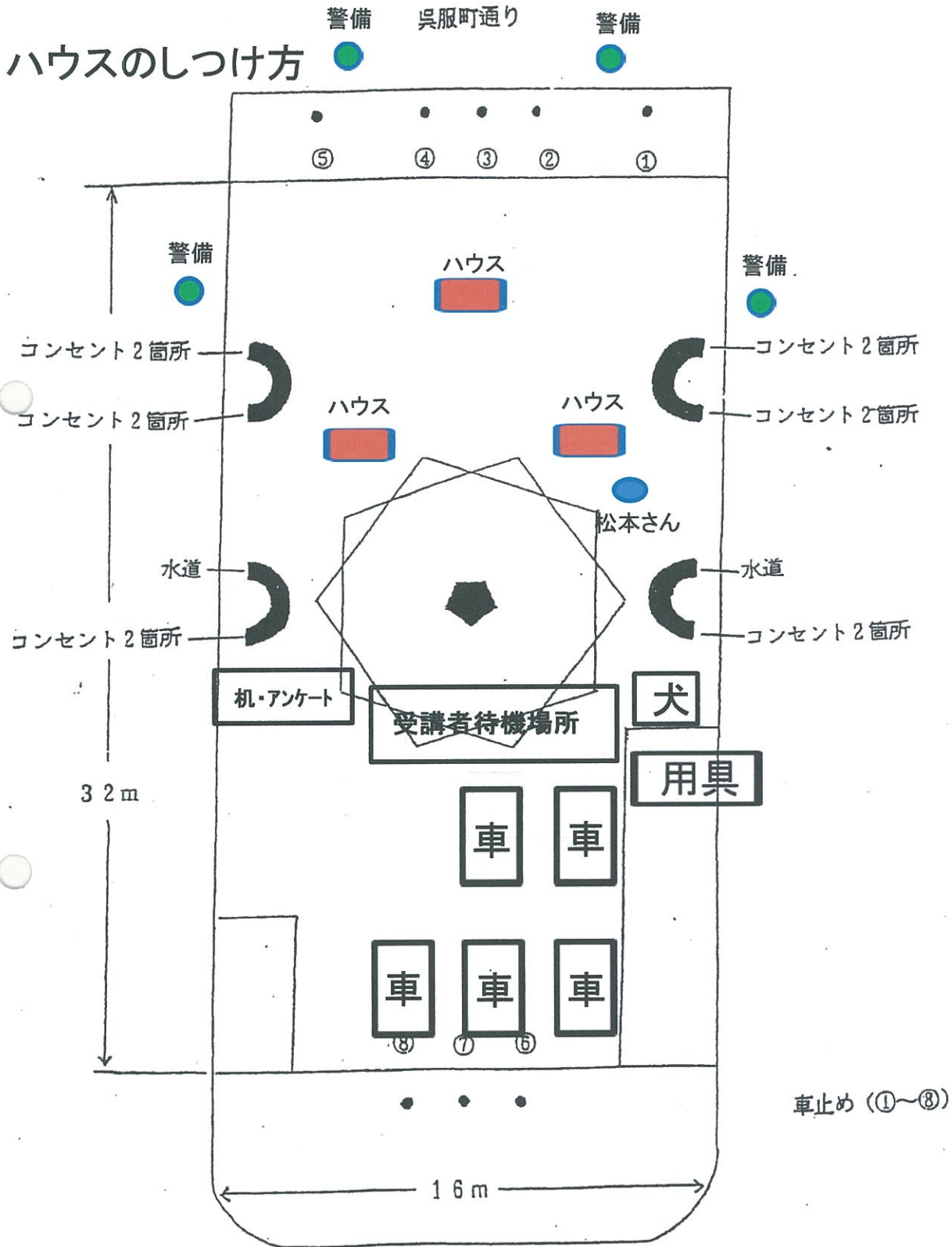
葵スクエア平面図

配置図



葵スクエア平面図

ハウスのしつけ方



第3回講習会①



市役所時間外出入口の案内板



市役所北側玄関に受付の案内を掲示



市役所1階に受付を設置
13:00 受け付け開始



市役所入館簿に名前と時間を記入
グループ分けのシールを配布



行列を作って待つ受講者のみなさん



1階案内板

第3回講習会②



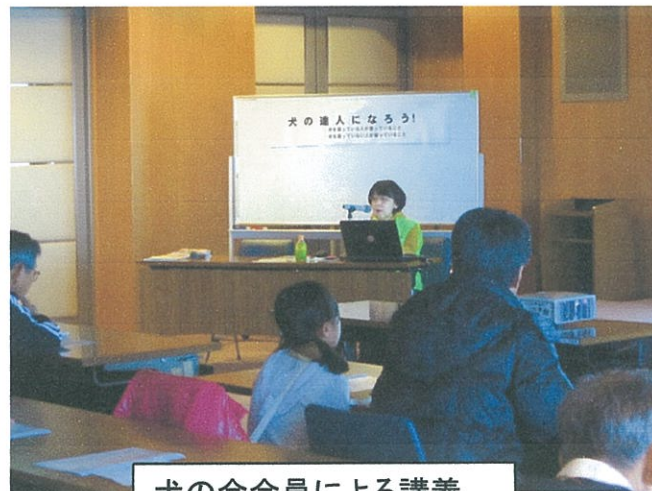
1階エレベーターへの案内



17階会議室への案内



13:30 講義開始のあいさつ



犬の会会員による講義



大勢の参加者たち



FM-HiのTJさんが参加

第3回講習会③



青葉イベント広場会場準備



青葉イベント広場立て看板



コーンと注意書き



事故に備えてバケツに水を準備



警備を4カ所に配備



受講者の皆さん

第3回講習会④



14:30 第2部開始



選別① ニオイのついた布を
選別台に入れます



選別② 見事正解です



14:46 東日本大震災被害者
に黙祷



見学者も一緒に黙祷



警察犬服従① 脚側行進

第3回講習会⑥



エアデールテリアによる
楽しいパフォーマンス①



エアデールテリアのパフォーマンス②
じゃんけんぽん



黒ラブの訓練披露



アンケート記入



質疑応答



スタンダードプードルとふれあい